

項目名	和訳結果	原文
-----	------	----

1. 一般情報  
GENERAL INFORMATION  
1.01 物質情報  
SUBSTANCE INFORMATION

CAS番号	109-66-0	109-66-0
物質名(日本語名)	ペンタン	-
物質名(英名)	pentane	pentane
別名等	1.4 別名を参照	1.4 別名を参照
国内適用法令の番号	-	-
国内適用法令物質名	-	-
OECD/HPV名称	-	-
分子式	C5H12	C5H12
構造式	-	-
備考	EINECS No. 203-692-4	EINECS No. 203-692-4

1.02 安全性情報収集計画書/報告書作成者に関する情報  
SPONSOR INFORMATION

機関名	OECD/HPVプログラム(SIAM 18-FEB-2000)により収集された情報 <a href="http://ecb.jrc.ec.europa.eu/esis/index.php?PGM=hpv">http://ecb.jrc.ec.europa.eu/esis/index.php?PGM=hpv</a>	OECD/HPV Program, SIDS Dossier, assessed at SIAM 18-FEB-2000 <a href="http://ecb.jrc.ec.europa.eu/esis/index.php?PGM=hpv">http://ecb.jrc.ec.europa.eu/esis/index.php?PGM=hpv</a>
代表者名	-	-
所在地及び連絡先	-	-
担当者氏名	-	-
担当者連絡先(住所)	-	-
担当者連絡先(電話番号)	-	-
担当者連絡先(メールアドレス)	-	-
報告書作成日	-	-
備考	-	-

1.03 カテゴリー評価  
DETAILS ON CHEMICAL CATEGORY

1.1 一般的な物質情報  
GENERAL SUBSTANCE INFORMATION

物質のタイプ	無機化合物	無機化合物
物質の色・におい・形状等の情報	-	-
物理的状態(20°C、1013hPa)	液体	液体
純度(重量/重量%)	-	-
出典	-	-
備考	-	-

物質のタイプ	有機化合物	有機化合物
物質の色・におい・形状等の情報	-	-
物理的状態(20°C、1013hPa)	液体	液体
純度(重量/重量%)	-	-
出典	-	-
備考	-	-

物質のタイプ	石油関連物質	石油関連物質
物質の色・におい・形状等の情報	-	-
物理的状態(20°C、1013hPa)	液体	液体
純度(重量/重量%)	-	-
出典	-	-
備考	-	-

1.2 不純物  
IMPURITIES

1.3 添加物  
ADDITIVES

1.4 別名  
SYNONYMS

物質名-1	2-Methylbutane	2-Methylbutane
出典	Haltermann GmbH Hamburg	Haltermann GmbH Hamburg
備考	-	-

物質名-1	HYDROSOL PENTANE	HYDROSOL PENTANE
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
備考	-	-

物質名-1	Isopentane	Isopentane
出典	Haltermann GmbH Hamburg	Haltermann GmbH Hamburg
備考	-	-

物質名-1	n-Pentan	n-Pentan
出典	NEUBER GES.M.B.H. WIEN	NEUBER GES.M.B.H. WIEN
備考	-	-

物質名-1	n-Pentane	n-Pentane
出典	Haltermann GmbH Hamburg	Haltermann GmbH Hamburg
備考	-	-

物質名-1	Normal pentane	Normal pentane
出典	Shell Nederland Chemie B.V. Hoogvliet-Rotterdam	Shell Nederland Chemie B.V. Hoogvliet-Rotterdam
備考		-
物質名-1	Norpar 5	Norpar 5
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
備考		-
物質名-1	Norpar 5 - Norpar 5S	Norpar 5 - Norpar 5S
出典	Exxon Chemical Belgium Antwerpen	Exxon Chemical Belgium Antwerpen
備考		-
物質名-1	Norpar 5S	Norpar 5S
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
備考		-
物質名-1	Pentane 75	Pentane 75
出典	Carless Refining & Marketing Ltd Romford	Carless Refining & Marketing Ltd Romford
備考		-
物質名-1	Pentane 98S	Pentane 98S
出典	Carless Refining & Marketing Ltd Romford	Carless Refining & Marketing Ltd Romford
備考		-
物質名-1	Petroleum Ether 30/40	Petroleum Ether 30/40
出典	Carless Refining & Marketing Ltd Romford	Carless Refining & Marketing Ltd Romford
備考		-
物質名-1	racôeÂuAôÆCîeA	racôeÂuAôÆCîeA
出典	æèàîèèÇ ÀaÆEæÇèÇ çääæÇèÂîèèâ	æèàîèèÇ ÀaÆEæÇèÇ çääæÇèÂîèèâ
備考		-

#### 1.5 製造・輸入量 QUANTITY

製造・輸入量	100000 ~ 500000 トン	100000 - 500000 tonnes
報告年		-
出典		-
備考		-

#### 1.6 用途情報 USE PATTERN

主な用途情報	非拡散の用途	非拡散の用途
工業的用途	選択してください	選択してください
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	閉鎖系用途	閉鎖系用途
工業的用途	選択してください	選択してください
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	その他:下欄のセルに記載 最終的に鑄型に流し込まれる用途	その他:下欄のセルに記載 Use resulting in inclusion into or onto matrix
工業的用途	選択してください	選択してください
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	拡散の用途	拡散の用途
工業的用途	選択してください	選択してください
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
工業的用途	化学工業:基本化学	化学工業:基本化学
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
工業的用途	化学工業:合成	化学工業:合成
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
		-
工業的用途	選択してください	選択してください
	塗料、ラッカー及びワックス工業	Paints, lacquers and varnishes industry
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
		-
工業的用途	個人用/室内用途	個人用/室内用途
		-
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
		-
工業的用途	選択してください	選択してください
	高分子工業	Polymers industry
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
		-
工業的用途	選択してください	選択してください
	その他:溶剤	other: solvent
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
		-
工業的用途	選択してください	選択してください
	その他	other
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
		-
工業的用途	選択してください	選択してください
	吸収剤及び吸着剤	Absorbents and adsorbents
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
		-
工業的用途	選択してください	選択してください
	エアロゾル噴霧剤	Aerosol propellants
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
		-
工業的用途	選択してください	選択してください
	化粧品	Cosmetics
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
		-
工業的用途	選択してください	選択してください
	発泡剤	Foaming agents
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
		-
工業的用途	選択してください	選択してください
	溶剤	Solvents
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
		-
工業的用途	選択してください	選択してください
	その他:発泡剤	other: blowing agent
用途分類		-
出典		-
備考		-

主な用途情報	選択してください	選択してください
	-	-
工業的用途	選択してください	選択してください
	その他: 溶剤、希釈剤	other: solvente, diluente
用途分類	-	-
出典	-	-
備考	-	-

#### 1.7 環境および人への暴露情報 SOURCES OF EXPOSURE

暴露に関する情報	製造工程の概要 原油から蒸留後、水素化処理及び水素添加	Outline of production process: Distillate from crude oil followed by hydrotreating and hydrogenation.
出典	Shell Nederland Chemie B.V. Hoogvliet-Rotterdam	Shell Nederland Chemie B.V. Hoogvliet-Rotterdam
備考	-	-

暴露に関する情報	閉鎖系用途: 試料採取時にばく露の可能性有り	Utilizzato in sistemi chiusi: esposizione possibile durante il campionamento.
出典	Agip Petroli SpA ROMA	Agip Petroli SpA ROMA
備考	-	-

#### 1.8 追加情報 ADDITIONAL INFORMATION

既存分類	表記: 指令67/548/EECにおいて シンボル: F+ Xn N 注釈: C その他の特記事項: S 特異的限界値: 不明 Rフレーズ: 1 Sフレーズ: - (2) 子供の手の届かない場所に保管する。 (9) 容器を換気のよい場所に保管する。 (16) 発火源から離して保管する—禁煙。 (29) 排水路に流してはならない。 (33) 静電気に対する予防措置を講ずる。 (61) 環境中への放出を避ける。特別な指示/製品安全データシート(MSDS)を参照する。 (62) 飲み込んだ時は吐かせてはならない。直ちに医師の診察を受け、医師にその容器またはラベルを見せる。	Labelling: as in Directive 67/548/EEC Symbols: F+ Xn N Nota: C other RM: S Specific limits: no data R-Phrases: 1 S-Phrases: (2) Keep out of reach of children (9) Keep container in a well-ventilated place (16) Keep away from sources of ignition - No smoking (29) Do not empty into drains (33) Take precautionary measures against static discharges (61) Avoid release to the environment. Refer to special instructions/Safety data sets (62) If swallowed, do not induce vomiting: seek medical advice immediately and show this container or label
職業暴露限界	-	-
廃棄方法	-	-
文献調査の範囲と日付	-	-
出典	-	-
備考	1.6.1 ラベル付け	1.6.1 Labelling

既存分類	分類: 指令67/548/EECにおいて 危険性クラス: 腐食性 Rフレーズ: (65) 有害: 飲み込むと肺障害を引き起こすことがある。	Classification: as in Directive 67/548/EEC Class of danger: corrosive R-Phrases: (65) Harmful: may cause lung damage is swallowed
職業暴露限界	-	-
廃棄方法	-	-
文献調査の範囲と日付	-	-
出典	-	-
備考	1.6.2 分類	1.6.2 Classification

既存分類	分類: 指令67/548/EECにおいて 危険性クラス: 環境に対して危険 Rフレーズ: (51) 水生生物に対して有毒である。 (53) 水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。	Classification: as in Directive 67/548/EEC Class of danger: dangerous for the environment R-Phrases: (51) Toxic to aquatic organisms (53) May cause long-term adverse effects in the aquatic environment
職業暴露限界	-	-
廃棄方法	-	-
文献調査の範囲と日付	-	-
出典	-	-
備考	1.6.2 分類	1.6.2 Classification

既存分類	分類: 指令67/548/EECにおいて 危険性クラス: 極めて強い引火性 Rフレーズ: (12) 引火性がきわめて高い。	Classification: as in Directive 67/548/EEC Class of danger: extremely flammable R-Phrases: (12) Extremely flammable
職業暴露限界	-	-
廃棄方法	-	-
文献調査の範囲と日付	-	-
出典	-	-
備考	1.6.2 分類	1.6.2 Classification

既存分類	分類: 指令67/548/EECにおいて 危険性クラス: Rフレーズ: 6	Classification: as in Directive 67/548/EEC Class of danger: R-Phrases: 6
職業暴露限界	-	-
廃棄方法	-	-
文献調査の範囲と日付	-	-
出典	-	-
備考	1.6.2 分類	1.6.2 Classification

既存分類	分類: 指令67/548/EECにおいて 危険性クラス: Rフレーズ: 6	Classification: as in Directive 67/548/EEC Class of danger: R-Phrases: 6
職業暴露限界		-
廃棄方法		-
文献調査の範囲と日付		-
出典		-
備考	1.6.2 分類	1.6.2 Classification

既存分類		-
職業暴露限界	限界のタイプ: MAC (NL) 限界値: 1800 mg/m3	Type of limit: MAC (NL) Limit value: 1800 mg/m3
廃棄方法		-
文献調査の範囲と日付		-
出典	Shell Nederland Chemie B.V. Hoogvliet-Rotterdam	Shell Nederland Chemie B.V. Hoogvliet-Rotterdam
備考	文献(1) 1.8 職業ばく露限界値	文献(1) 1.8 Occupational Exposure Limit Values

既存分類		-
職業暴露限界	限界のタイプ: TLV (US) 限界値: 1770 mg/m3 短期間ばく露 限界値: 2210 mg/m3 スケジュール: 15分	Type of limit: TLV (US) Limit value: 1770 mg/m3 Short term expos. Limit value: 2210 mg/m3 Schedule: 15 minute(s)
廃棄方法		-
文献調査の範囲と日付		-
出典	Shell Nederland Chemie B.V. Hoogvliet-Rotterdam	Shell Nederland Chemie B.V. Hoogvliet-Rotterdam
備考	文献(2) 1.8 職業ばく露限界値	文献(2) 1.8 Occupational Exposure Limit Values

既存分類		-
職業暴露限界	限界のタイプ: TLV (US) 限界値: 600 ml/m3	Type of limit: TLV (US) Limit value: 600 ml/m3
廃棄方法		-
文献調査の範囲と日付		-
出典	Agip Petroli SpA ROMA	Agip Petroli SpA ROMA
備考	文献(3) 1.8 職業ばく露限界値	文献(3) 1.8 Occupational Exposure Limit Values

既存分類		-
職業暴露限界		-
廃棄方法	廃棄の選択 可能であれば再生又はリサイクル。それでなければ焼却。	DISPOSAL OPTIONS Recover or recycle if possible. Otherwise incineration.
文献調査の範囲と日付		-
出典	Shell Nederland Chemie B.V. Hoogvliet-Rotterdam	Shell Nederland Chemie B.V. Hoogvliet-Rotterdam
備考	移動情報 UN番号: 1265 クラス: 3 等級: I 正式輸送品目名: n-ペンタン  海 (IMO; 国際海事機構) クラス: 3.1 等級: I シンボル: 引火性液体 海洋汚染物質 (Y/N): いいえ  鉄道/道路 (RID/ADR) クラス: 3 品目: 1(a) シンボル: 引火性液体 Kemler Plate: 33/1265  クラス: 3 等級: I シンボル: 引火性液体	TRANSPORT INFORMATION UN Number: 1265 Class: 3 Packing Group: I Proper Shipping Name: n-Pentane Sea (IMO) Class: 3.1 Packing Group: I Symbol: Flammable liquid Marine Pollutant (Y/N): No Rail/Road (RID/ADR) Class: 3 Item: 1(a) Symbol: Flammable liquid Kemler Plate: 33/1265 Air (IATA/ICAO) Class: 3 Packing Group: I Symbol: Flammable liquid

既存分類		-
職業暴露限界		-
廃棄方法		-
文献調査の範囲と日付		-
出典	Agip Petroli SpA ROMA	Agip Petroli SpA ROMA
備考	輸送時の安全規定 ADR/RID: 3.2° /33 IATA : 3.1 IMDG : 3.1 UN : 1265	Prescrizioni di sicurezza per il trasporto: ADR/RID: 3.2° /33 IATA : 3.1 IMDG : 3.1 UN : 1265

## 2. 物理化学的性状 PHYSICAL CHEMICAL DATA

### 2.1 融点 MELTING POINT

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法	その他	other
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-

結果		
融点: °C	< -50	< -50
分解: °C	選択してください	選択してください
昇華: °C	選択してください	選択してください
	-	-
結論		-
注釈		-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	(4)	(4)
備考		-

## 2.2 沸点

### BOILING POINT

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		-
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果		
沸点: °C	32 ~ 59	32 ~ 59
圧力		-
分解: °C	選択してください	選択してください
		-
結論		-
注釈		-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	aèèàîèèÇ AaÆÉàèÇèÇ cääæÇèÄîèèä	aèèàîèèÇ AaÆÉàèÇèÇ cääæÇèÄîèèä
引用文献		-
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法	その他	other
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果		
沸点: °C	35 ~ 38	35 ~ 38
圧力	101.3 hPa	101.3 hPa
分解: °C	選択してください	選択してください
		-
結論		-
注釈		-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	(4)	(4)
備考		-

## 2.3 密度(比重)

### DENSITY(RELATIVE DENSITY)

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法	その他	other
GLP	はい	はい
試験を行った年	1993	1993
試験条件		-
結果	630 kg/m3	630 kg/m3
タイプ	密度	密度
		-
温度(°C)	15	15
注釈		-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献		-
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		-
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果	0.64 kg/m3	0.64 kg/m3

タイプ	選択してください	選択してください
温度 (°C)	-	-
注釈	-	-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	選択してください	選択してください
出典	æèàîèèÇ ÄäÆÉæÇèÇ çäææÇèÄîèèä	æèàîèèÇ ÄäÆÉæÇèÇ çäææÇèÄîèèä
引用文献	-	-
備考	-	-

#### 2.4 蒸気圧

##### VAPOUR PRESSURE

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	-	-
注釈	-	-
方法	その他(測定)	other (measured)
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年	-	-
試験条件	-	-
結果	-	-
蒸気圧	1100 hPa	1100 hPa
温度: °C	38	38
分解: °C	選択してください	選択してください
結論	-	-
注釈	-	-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	選択してください	選択してください
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	(4)	(4)
備考	-	-

#### 2.5 分配係数(log Kow)

##### PARTITION COEFFICIENT

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	-	-
注釈	-	-
方法	その他(計算)	other (calculated)
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年	1985	1985
試験条件	-	-
結果	-	-
Log Kow	3.39	3.39
温度: °C	-	-
結論	-	-
注釈	-	-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	選択してください	選択してください
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	(5)	(5)
備考	-	-

#### 2.6.1 水溶解性(解離定数を含む)

##### WATER SOLUBILITY & DISSOCIATION CONSTANT

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	-	-
注釈	-	-
方法	その他	other
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年	-	-
試験条件	-	-
結果	-	-
水溶解度	< 1 mg/l	< 1 mg/l
温度: °C	20	20
pH	-	-
pH測定時の物質濃度	-	-
結論	-	-
注釈	-	-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	選択してください	選択してください
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	(4)	(4)
備考	-	-
解離定数	-	-
試験物質	-	-
同一性	-	-
方法	-	-
温度: °C	-	-
GLP	選択してください	選択してください
試験条件	-	-
試験を行った年	-	-
結果	-	-
結論	-	-
注釈	-	-
信頼性スコア	選択してください	選択してください

	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典		-
引用文献		-
備考		-

## 2.6.2 表面張力 SURFACE TENSION

## 2.7 引火点 (液体) FLASH POINT (LIQUIDS)

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		-
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果		
引火点: °C	-48	-48
試験のタイプ	クローズドカップ	クローズドカップ
結論		-
注釈		-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	選択してください	選択してください
出典	aèèàîèèÇ ÅäÆÉàèÇèÇ çäææÇèÄîèèä	aèèàîèèÇ ÅäÆÉàèÇèÇ çäææÇèÄîèèä
引用文献		-
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法	その他	other
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果		
引火点: °C	< -45	< -45
試験のタイプ	選択してください	選択してください
結論		-
注釈		-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	選択してください	選択してください
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	(4)	(4)
備考		-

## 2.8 自己燃焼性 (固体／気体) AUTO FLAMMABILITY (SOLIDS/GASES)

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法	その他	other
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果		
自動発火点: °C	> 200	> 200
圧力		-
結論		-
注釈		-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	選択してください	選択してください
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	(4)	(4)
備考		-

## 2.9 引火性 FLAMMABILITY

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		-
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果		
固体の場合		-
引火性が高い	選択してください	選択してください
気体の場合		-
水との接触	選択してください	選択してください
結論	極めて強い引火性	extremely flammable



注釈		-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	àèèàîèèÇ ÅaÆÉaèÇèÇ çääæÇèÀîèèå	àèèàîèèÇ ÅaÆÉaèÇèÇ çääæÇèÀîèèå
引用文献		-
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		-
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果		-
固体の場合		-
引火性が高い	選択してください	選択してください
気体の場合		-
		-
水との接触	選択してください	選択してください
結論	極めて強い引火性	extremely flammable
注釈		-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	(6) (7)	(6) (7)
備考		-

## 2.10 爆発性

### EXPLOSIVE PROPERTIES

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		-
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果		-
火により爆発	はい	はい
	炎の影響により爆発性あり	explosive under influence of a flame
m-ジニトロベンゼンより摩擦に敏感	選択してください	選択してください
		-
m-ジニトロベンゼンより衝撃に敏感	選択してください	選択してください
		-
爆発性ない	選択してください	選択してください
		-
その他		-
結論		-
注釈		-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	àèèàîèèÇ ÅaÆÉaèÇèÇ çääæÇèÀîèèå	àèèàîèèÇ ÅaÆÉaèÇèÇ çääæÇèÀîèèå
引用文献		-
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法	その他	other
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果		-
火により爆発	選択してください	選択してください
		-
m-ジニトロベンゼンより摩擦に敏感	選択してください	選択してください
		-
m-ジニトロベンゼンより衝撃に敏感	選択してください	選択してください
		-
爆発性ない	はい	はい
	爆発性なし	not explosive
その他		-
結論		-
注釈		-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	(6) (8)	(6) (8)
備考		-

## 2.11 酸化性

### OXIDISING PROPERTIES

## 2.12 酸化還元ポテンシャル

### OXIDATION/REDUCTION POTENTIAL

2.13 その他の物理化学的性状に関する情報  
ADDITIONAL INFORMATION

3. 環境運命と経路  
ENVIRONMENTAL FATE AND PATHWAYS

3.1 安定性  
STABILITY

3.1.1. 光分解  
PHOTODEGRADATION

3.1.2. 水中安定性(加水分解性)  
STABILITY IN WATER

3.1.3. 土壌中安定性  
STABILITY IN SOIL

3.2. モニタリングデータ(環境)  
MONITORING DATA(ENVIRONMENT)

3.3. 移動と分配  
TRANSPORT AND DISTRIBUTION

3.3.1 環境区分間の移動  
TRANSPORT BETWEEN ENVIRONMENTAL COMPARTMENTS

3.3.2 分配  
DISTRIBUTION

3.4 好気性生分解性  
AEROBIC BIODEGRADATION

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈	-	-
方法	その他	other
培養期間	-	-
植種源	その他	other
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年	-	-
試験条件	-	-
試験物質濃度	-	-
汚泥濃度	-	-
培養温度 °C	-	-
対照物質および濃度(mg/L)	-	-
分解度測定方法	-	-
分解度算出方法	-	-
結果		
最終分解度(%) 日目	192時間後に約70%	ca. 70 % after 192 hours
分解速度-1	-	-
分解速度-2	-	-
分解速度-3	-	-
分解速度-4	-	-
分解生成物	-	-
上記結果以外の分解度測定方法及びその結果	-	-
対象物質の7, 14日目の分解度	-	-
その他	-	-
結論	-	-
注釈	-	-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	-	-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	(9)	(9)
備考	-	-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	-	-
注釈	-	-
方法	-	-
培養期間	-	-
植種源	その他	other
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年	-	-
試験条件	-	-
試験物質濃度	-	-
汚泥濃度	-	-
培養温度 °C	-	-
対照物質および濃度(mg/L)	-	-
分解度測定方法	-	-
分解度算出方法	-	-
結果		
最終分解度(%) 日目	24時間後	after 24 hours
分解速度-1	-	-
分解速度-2	-	-
分解速度-3	-	-
分解速度-4	-	-
分解生成物	-	-
上記結果以外の分解度測定方法及びその結果	-	-
対象物質の7, 14日目の分解度	-	-

その他	結果:その他	Result: other
結論	-	-
注釈	-	-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	-	-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	(10) (11)	(10) (11)
備考	-	-

3.5. BOD-5、CODまたはBOD-5／COD比  
BOD-5、COD OR RATIO BOD-5/COD

3.6 生物濃縮性  
BIOACCUMULATION

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	-	-
注釈	-	-
方法	-	-
生物種	-	-
暴露期間（日）	-	-
曝露濃度	-	-
排泄期間	-	-
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年	-	-
分析方法	-	-
試験条件	-	-
被験物質溶液	-	-
対照物質	-	-
対照物質名及び分析方法	選択してください	選択してください
	-	-
試験方式／実施	-	-
結果	-	-
死亡率／行動	-	-
脂質含有量（%）	-	-
試験中の被験物質濃度	-	-
濃縮係数(BCF)	1.9 ～ 2.35	1.9 - 2.35
取込／排泄定数	-	-
排泄時間	-	-
代謝物	-	-
その他の観察	-	-
結論	-	-
注釈	-	-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	-	-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	-	-
備考	(12)	(12)

項目名	和訳結果	原文
-----	------	----

4-1 魚への急性毒性  
ACUTE TOXICITY TO FISH

試験物質	ペンタン	pentane
同一性	-	-
方法	その他	other
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年	1975	1975
魚種、系統、供給者	ギンザケ(魚類、淡水、海)	Oncorhynchus kisutch (Fish, fresh water, marine)
エンドポイント	-	-
試験物質の分析の有無	あり	あり
試験物質の分析方法	-	-
結果の統計解析手法	-	-
<b>試験条件</b>		
試験魚の月齢、体長、体重	-	-
試験用水量あたりの魚体重	-	-
参照物質での感受性試験結果	-	-
じゅん化条件	-	-
希釈水源	-	-
希釈水の化学的性質	-	-
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	-	-
試験物質の溶液中での安定性	-	-
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	-	-
暴露容器	-	-
暴露期間	96時間	96 hours
試験方式	選択してください	選択してください
換水率/換水頻度	-	-
連数、1連当たりの魚数	-	-
影響が観察された少なくとも1濃度区及び対照区における水質	-	-
試験温度範囲	-	-
照明の状態	-	-
平均測定濃度の計算方法	-	-
<b>結果</b>		
設定濃度	-	-
実測濃度	-	-
生物学的影響観察	-	-
累積死亡率の表	-	-
統計的結果	-	-
注釈	最高試験濃度100ppm(n-ペンタン)において死亡はみられなかった。	No mortality observed at highest concentration tested ,100ppm n-pentane
対照区における死亡率	-	-
異常反応	-	-
その他の観察結果	-	-
<b>結論</b>		
結果(96h-LC50)	-	-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
キースタディ	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	-	-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献	(13)	(13)
備考	-	-

4-2 水生無脊椎動物への急性毒性(例えばミジンコ)  
ACUTE TOXICITY TO AQUATIC INVERTEBRATES (DAPHNIA)

試験物質	ペンタン	pentane
同一性	被験物質: 不明	Test substance: no data
方法	その他	other
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年	1986	1986
生物種、系統、供給者	ブラインシュリンプ(甲殻類)	Artemia salina (Crustacea)
エンドポイント	-	-
試験物質の分析の有無	選択してください	選択してください
試験物質の分析方法	-	-
結果の統計解析手法	-	-
<b>試験条件</b>		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法	-	-
参照物質での感受性試験結果	-	-
試験開始時の時間齢	-	-
希釈水源	-	-
希釈水の化学的性質	-	-
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法	-	-
試験物質の溶液中での安定性	-	-
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度	-	-
暴露容器	-	-
暴露期間	24時間	24 hours
試験方式	選択してください	選択してください
連数、1連当たりの試験生物数	-	-
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質	-	-
試験温度範囲	-	-
照明の状態	-	-
平均測定濃度の計算方法	-	-
<b>結果</b>		
設定濃度	-	-
実測濃度	-	-
遊泳阻害数	-	-
累積遊泳阻害数の表	-	-
注釈	-	-
対照区における反応は妥当か	選択してください	選択してください
対照区における反応の妥当性の考察	-	-
<b>結論</b>		
結果(48h-EC50)	LC50: 11.9mg/l	LC50: 11.9mg/l

信頼性スコア	選択してください	選択してください
キースタディ	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献	(14)	(14)
備考		-

試験物質	ペンタン	pentane
同一性		-
方法	その他	other
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年	1983	1983
生物種、系統、供給者	オオミジンコ(甲殻類)	Daphnia magna (Crustacea)
エンドポイント		-
試験物質の分析の有無	選択してください	選択してください
試験物質の分析方法		-
結果の統計解析手法		-
<b>試験条件</b>		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		-
参照物質での感受性試験結果		-
試験開始時の時間齢		-
希釈水源		-
希釈水の化学的性質		-
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		-
試験物質の溶液中での安定性		-
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		-
暴露容器		-
暴露期間	48時間	48 hours
試験方式	選択してください	選択してください
連数、1連当たりの試験生物数		-
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		-
試験温度範囲		-
照明の状態		-
平均測定濃度の計算方法		-
<b>結果</b>		
設定濃度		-
実測濃度		-
遊泳阻害数		-
累積遊泳阻害数の表		-
注釈		-
対照区における反応は妥当か	選択してください	選択してください
対照区における反応の妥当性の考察		-
<b>結論</b>		
結果(48h-EC50)	EC50: 9.74mg/l	EC50: 9.74mg/l
信頼性スコア	選択してください	選択してください
キースタディ	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献	(15)	(15)
備考		-

試験物質	ペンタン	pentane
同一性		-
方法		-
GLP	選択してください	選択してください
試験を行った年	1975	1975
生物種、系統、供給者	その他	other
エンドポイント		-
試験物質の分析の有無	あり	あり
試験物質の分析方法		-
結果の統計解析手法		-
<b>試験条件</b>		
試験生物の起源、前処理、繁殖方法		-
参照物質での感受性試験結果		-
試験開始時の時間齢		-
希釈水源		-
希釈水の化学的性質		-
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		-
試験物質の溶液中での安定性		-
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		-
暴露容器		-
暴露期間		-
試験方式	選択してください	選択してください
連数、1連当たりの試験生物数		-
対照区と影響が観察された少なくとも1濃度区における水質		-
試験温度範囲		-
照明の状態		-
平均測定濃度の計算方法		-
<b>結果</b>		
設定濃度		-
実測濃度		-
遊泳阻害数		-
累積遊泳阻害数の表		-
注釈	試験濃度3000mg/lにおいて、胚発生に影響はみられなかった。	No observed effect on embryonic development at concentrationtested , 3000mg / l
対照区における反応は妥当か	選択してください	選択してください
対照区における反応の妥当性の考察		-
<b>結論</b>		
結果(48h-EC50)		-
信頼性スコア	選択してください	選択してください
キースタディ	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris

引用文献	(16)	(16)
備考		-

4-3 水生植物への毒性(例えば藻類)  
TOXICITY TO AQUATIC PLANTS e. g. ALGAE

試験物質	ペンタン	pentane
同一性		-
方法	その他	other
GLP	選択して下さい	選択して下さい
試験を行った年	1977	1977
生物種、系統、供給者	その他の藻類	other algae
エンドポイント		-
毒性値算出に用いたデータの種類		-
試験物質の分析の有無	選択して下さい	選択して下さい
試験物質の分析方法		-
結果の統計解析手法		-
試験条件		-
試験施設での藻類継代培養方法		-
藻類の前培養の方法及び状況		-
参照物質での感受性試験結果		-
希釈水源		-
培地の化学的性質		-
試験溶液(及び保存溶液)とその調製法		-
試験物質の溶液中での安定性		-
溶解助剤/溶剤の種類とその濃度		-
暴露容器		-
暴露期間	8時間	8 hours
試験方式	選択して下さい	選択して下さい
連数		-
各濃度区の少なくとも1連における試験開始時と終了時の水質		-
試験温度範囲		-
照明の状態		-
平均測定濃度の計算方法		-
結果		-
設定濃度		-
実測濃度		-
細胞密度		-
生長阻害率(%)		-
各濃度区における生長曲線		-
その他観察結果		-
注釈		-
対照区での生長は妥当か	選択して下さい	選択して下さい
対照区における反応の妥当性の考察		-
結論		-
結果(ErC50)	EC50: 1mg/l	EC50: 1mg/l
結果(NOEC)		-
信頼性スコア	選択して下さい	選択して下さい
キースタディ	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献	(17)	(17)
備考		-

4-4 微生物への毒性(例えばバクテリア)  
TOXICITY TO MICROORGANISMS e. g. BACTERIA

4-5 水生生物への慢性毒性  
CHRONIC TOXICITY TO AQUATIC ORGANISMS

A. 魚への慢性毒性  
CHRONIC TOXICITY TO FISH

B. 水生無脊椎動物への慢性毒性  
CHRONIC TOXICITY TO AQUATIC INVERTEBRATES

4-6 陸生生物への毒性  
TOXICITY TO TERRESTRIAL ORGANISMS

A. 陸生植物への毒性  
TOXICITY TO TERRESTRIAL PLANTS

B. 土壌生物への毒性  
TOXICITY TO SOIL DWELLING ORGANISMS

C. 他の非哺乳類陸生種(鳥類を含む)への毒性  
TOXICITY TO OTHER NON-MAMMALIAN TERRESTRIAL SPECIES (INCLUDING AVIAN)

4-6-1底生生物への毒性  
TOXICITY TO SEDIMENT DWELLING ORGANISMS

4-7 生物学的影響モニタリング(食物連鎖による蓄積を含む)  
BIOLOGICAL EFFECTS MONITORING (INCLUDING BIOMAGNIFICATION)

4-8 生体内物質変換と動態  
BIOTRANSFORMATION AND KINETICS

4-9 追加情報  
ADDITIONAL INFORMATION

項目名	和訳結果	原文
-----	------	----

5-1 トキシコキネティクス、代謝、分布  
TOXICOKINETICS, METABOLISM, and DISTRIBUTION

5-2 急性毒性  
ACUTE TOXICITY  
A. 急性経口毒性  
ACUTE ORAL TOXICITY

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	-	-
注釈	-	-
方法	-	-
方法／ガイドライン	選択してください	選択してください
GLP適合	-	-
試験を行った年	選択してください	選択してください
試験系(種／系統)	Mouse	Mouse
性別(雄:M、雌:F)	選択してください	選択してください
投与量	-	-
各用量群(性別)の動物数	-	-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	選択してください	選択してください
観察期間(日)	-	-
その他の試験条件	-	-
統計学的処理	-	-
結果	-	-
各用量群での死亡数	-	-
臨床所見	-	-
剖検所見	-	-
その他	-	-
結論	-	-
LD50値又はLC50値	LD50: 5000 mg/kg bw	LD50: 5000 mg/kg bw
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	-	-
注釈	-	-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	-	-
出典	äëäâtëëÇ ÄäÆEäëÇëÇ çäææÇëÄtëëä	äëäâtëëÇ ÄäÆEäëÇëÇ çäææÇëÄtëëä
引用文献(元文献)	-	-
備考	-	-

B. 急性吸入毒性  
ACUTE INHALATION TOXICITY

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	-	-
注釈	-	-
方法	-	-
方法／ガイドライン	選択してください その他	選択してください other
GLP適合	いいえ	いいえ
試験を行った年	1936	1936
試験系(種／系統)	Mouse	Mouse
性別(雄:M、雌:F)	選択してください	選択してください
投与量	-	-
各用量群(性別)の動物数	-	-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	選択してください	選択してください
観察期間(日)	ばく露時間: 2時間	Exposure time: 2 hours
その他の試験条件	-	-
統計学的処理	-	-
結果	-	-
各用量群での死亡数	-	-
臨床所見	-	-
剖検所見	-	-
その他	-	-
結論	-	-
LD50値又はLC50値	LC50: 約295 mg/l	LC50: ca. 295 mg/l
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	-	-
注釈	-	-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	-	-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献(元文献)	(18)	(18)
備考	-	-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質: その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈	-	-
方法	-	-
方法／ガイドライン	選択してください	選択してください
	-	-

GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	-	-
試験系(種／系統)	Mouse	Mouse
性別(雄:M、雌:F)	選択してください	選択してください
投与量	-	-
各用量群(性別)の動物数	-	-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	選択してください	選択してください
観察期間(日)	-	-
その他の試験条件	-	-
統計学的処理	-	-
結果	-	-
各用量群での死亡数	-	-
臨床所見	-	-
剖検所見	-	-
その他	-	-
結論	-	-
LD50値又はLC50値	-	-
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	-	-
注釈	130000 ppmのn-ペンタンをばく露した37分後にマウスの死亡が確認された。ほとんどの場合、死亡の前に反射作用の損失や極度の衰弱が確認され、特に100,000～130,000 ppmの濃度で顕著にみられた。極度の衰弱は、これらの濃度でばく露されたマウスにおいて5～7分以内に生じる可能性がある。	Death of mice appeared 37 minutes after exposure to 130000 ppm of n-pentane. Generally, death was preceded by the loss of reflexes, prostration, especially when the concentration were between 100,000 to 130,000 ppm. Prostration may occur within 5 to 7 minutes in mice exposed at these concentrations.
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	-	-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(19)	(19)
備考	-	-

C. 急性経皮毒性  
ACUTE DERMAL TOXICITY

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	-	-
注釈	-	-
方法	-	-
方法／ガイドライン	選択してください	選択してください
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	-	-
試験系(種／系統)	Rabbit	Rabbit
性別(雄:M、雌:F)	選択してください	選択してください
投与量	-	-
各用量群(性別)の動物数	-	-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	選択してください	選択してください
観察期間(日)	-	-
その他の試験条件	-	-
統計学的処理	-	-
結果	-	-
各用量群での死亡数	-	-
臨床所見	-	-
剖検所見	-	-
その他	-	-
結論	-	-
LD50値又はLC50値	LD50: 3000 mg/kg bw	LD50: 3000 mg/kg bw
雌雄のLD50値又はLC50値の違い等	-	-
注釈	-	-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	-	-
出典	ææäîëëÇ ÅäÆÉæèÇèÇ çäææÇèÄîëää	æèëäîëëÇ ÅäÆÉæèÇèÇ çäææÇèÄîëää
引用文献(元文献)	-	-
備考	-	-

D. 急性毒性(その他の投与経路)  
ACUTE TOXICITY, OTHER ROUTES

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	-	-
注釈	-	-
方法	-	-
方法／ガイドライン	-	-
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	-	-
試験系(種／系統)	Mouse	Mouse
性別(雄:M、雌:F)	選択してください	選択してください
投与量	-	-
各用量群(性別)の動物数	-	-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	選択してください	選択してください
観察期間(日)	i.v.	i.v.



その他の試験条件		-
統計学的処理		-
結果		
各用量群での死亡数		-
臨床所見		-
剖検所見		-
その他		-
結論		
毒性値	LD50: 446 mg/kg bw	LD50: 446 mg/kg bw
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(20)	(20)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		
方法／ガイドライン		-
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験系(種／系統)	Rat	Rat
性別(雄:M、雌:F)	選択してください	選択してください
投与量		-
各用量群(性別)の動物数		-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	選択してください その他	選択してください other
観察期間(日)		-
その他の試験条件		-
統計学的処理		-
結果		
各用量群での死亡数		-
臨床所見		-
剖検所見		-
その他		-
結論		
毒性値		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(21)	(21)
備考	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS

5-3 腐食性／刺激性  
CORROSIVENESS/IRRITATION  
A. 皮膚刺激／腐食  
SKIN IRRITATION/CORROSION

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈		-
pH		-
方法		
方法／ガイドライン	OECD404	OECD404
GLP適合	はい	はい
試験を行った年	1990	1990
試験系(種／系統)	Rabbit	Rabbit
性別(雄:M、雌:F)	選択してください	選択してください
投与量		-
各用量群(性別)の動物数		-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路		-
観察期間(日)		-
その他の試験条件		-
統計学的処理		-
結果		
一次刺激スコア		-
皮膚反応等		-
その他		-
結論		
皮膚刺激性	なし	なし
皮膚腐食性	選択してください	選択してください
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(22)	(22)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
pH		-
方法		

方法／ガイドライン	その他	other
GLP適合	はい	はい
試験を行った年	1991	1991
試験系(種／系統)	その他	その他
性別(雄:M、雌:F)	ヒト	human
投与量	選択してください	選択してください
各用量群(性別)の動物数	-	-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	-	-
観察期間(日)	-	-
その他の試験条件	-	-
統計学的処理	-	-
結果	-	-
一次刺激スコア	-	-
皮膚反応等	-	-
その他	-	-
結論	-	-
皮膚刺激性	なし	なし
皮膚腐食性	選択してください	選択してください
注釈	-	-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	-	-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(23)	(23)
備考	-	-

B. 眼刺激／腐食  
EYE IRRITATION/CORROSION

5-4 皮膚感作  
SKIN SENSITISATION

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈	-	-
方法	-	-
方法／ガイドライン	選択してください	選択してください
試験のタイプ	-	-
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	1991	1991
試験系(種／系統)	Guinea Pig	Guinea Pig
性別(雄:M、雌:F)	選択してください	選択してください
投与量	-	-
各用量群(性別)の動物数	-	-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	-	-
観察期間(日)	-	-
その他の試験条件	-	-
統計学的処理	-	-
結果	-	-
試験結果	-	-
その他	-	-
結論	-	-
感作性	選択してください	選択してください
注釈	-	-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	-	-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(24)	(24)
備考	-	-

5-5 反復投与毒性  
REPEATED DOSE TOXICITY

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈	-	-
方法	-	-
方法／ガイドライン	選択してください	選択してください
GLP適合	いいえ	いいえ
試験を行った年	1981	1981
試験系(種／系統)	Rat	Rat
性別(雄:M、雌:F)	Wistar	Wistar
投与量	M	M
各用量群(性別)の動物数	3000 ppm	3000 ppm
溶媒(担体)	28 匹	28 rats
投与経路	選択してください	選択してください
対照群に対する処理	吸入	inhalation
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	はい	yes
投与頻度	16 週間	16 weeks
回復期間(日)	12時間/日、7日/週	12 h/d 7 days / week
試験条件	-	-
試験条件	n-ペンタン、n-ヘキサン及びn-ヘプタンの神経毒性の比較研究が行われた。	A comparative study of the neurotoxicity of n-pentane,n-hexane and n-heptane was conducted.

統計学的処理		-
結果		
体重、体重増加量		-
摂餌量、飲水量		-
臨床所見（重篤度、所見の発現時期と持続時間）	n-ペンタンをばく露された動物検体において異常な神経行動学的影響はなかった。自発運動量は正常であり、末梢神経障害の兆候はなかった。	There were nosigns of abnormal neurobehavioral effects in the n-pentane exposed animals;motor activity was normal and there was no evidence of peripheral neuropathy
眼科学的所見（発生率、重篤度）		-
血液学的所見（発生率、重篤度）		-
血液生化学的所見（発生率、重篤度）		-
尿検査所見（発生率、重篤度）		-
死亡数（率）、死亡時間		-
剖検所見（発生率、重篤度）		-
臓器重量		-
病理組織学的所見（発生率、重篤度）		-
実際に摂取された量		-
用量反応性		-
注釈		-
結論		
NOAEL (NOEL)	3000 ppm	3000 ppm
LOAEL (LOEL)		-
NOAEL/LOAELの推定根拠		-
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献(元文献)	(25)	(25)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈		-
方法		
方法／ガイドライン	選択してください その他	選択してください other
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	1986	1986
試験系(種／系統)	Rat Sprague-Dawley	Rat Sprague-Dawley
性別(雄:M、雌:F)	選択してください	選択してください
投与量		-
各用量群(性別)の動物数		-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	選択してください 吸入	選択してください inhalation
対照群に対する処理		-
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	21 日	21 days
投与頻度		-
回復期間(日)		-
試験条件	n-ペンタン、イソペンタン、n-ブタン及びイソブタンの25%(w/w)混合について、21日の吸入毒性研究がSprague-Dawleyラットを用いて行われた。研究は、これらの主要なガソリンの蒸気中成分に対して、肝臓障害を誘発する能力を評価するよう計画された。	A 21-day inhalation toxicity study of a blend consisting of 25 % (w/w) of n-pentane, isopentane, n-butane, and isobutanewas conducted using Sprague-Dawley rats. The study was designed to assess the potential for these major gasoline vapor components to induce kidney damage.
統計学的処理		-
結果		
体重、体重増加量		-
摂餌量、飲水量		-
臨床所見（重篤度、所見の発現時期と持続時間）		-
眼科学的所見（発生率、重篤度）		-
血液学的所見（発生率、重篤度）		-
血液生化学的所見（発生率、重篤度）		-
尿検査所見（発生率、重篤度）		-
死亡数（率）、死亡時間		-
剖検所見（発生率、重篤度）		-
臓器重量		-
病理組織学的所見（発生率、重篤度）	この混合物の11,800 mg/m <sup>3</sup> (4437 ppm)までの濃度にばく露されたラットにおいて、通常、炭化水素誘発腎障害と関連して起こる肝臓病変の兆候はみられなかった。	No evidence of theKIDNEY lesions typically associated with hydrocarbon-induced nephropathy was observed in RATS exposed at up to 11,800 mg/m <sup>3</sup> (4437 ppm) of this blend.
実際に摂取された量		-
用量反応性		-
注釈		-
結論		
NOAEL (NOEL)		-
LOAEL (LOEL)		-
NOAEL/LOAELの推定根拠		-
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献(元文献)	(26)	(26)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈		-
方法		
方法／ガイドライン	選択してください その他	選択してください other
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	1981	1981
試験系(種／系統)	Rat	Rat
性別(雄:M、雌:F)		-
投与量	選択してください 3000 ppm	選択してください 3000 ppm
各用量群(性別)の動物数		-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	選択してください 吸入	選択してください inhalation
対照群に対する処理	はい	yes
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	16 週間	16 weeks
投与頻度	12 時間/日、7 日/週	12 hours/day, 7 days/week
回復期間(日)		-
試験条件		-
統計学的処理		-
結果		
体重、体重増加量		-
摂餌量、飲水量		-
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)		-
眼科学的所見(発生率、重篤度)		-
血液学的所見(発生率、重篤度)		-
血液生化学的所見(発生率、重篤度)		-
尿検査所見(発生率、重篤度)		-
死亡数(率)、死亡時間		-
剖検所見(発生率、重篤度)		-
臓器重量		-
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	ばく露された動物検体において異常な神経行動学的影響の所見はみられなかった。自発運動量は正常であり、末梢神経障害の兆候は見られなかった。処理済みのラットの神経繊維の顕微鏡検査、及び伝導速度の変動に関しては、対照動物のものと違いは認められなかった。	No signs of abnormal neurobehavioral effects were found in animals that were exposed; motor activity was normal and there was no evidence of peripheral neuropathy. Microscopic examination of nerve fibers and movements of the conduction velocity in treated rats showed no differences from the controls.
実際に摂取された量		-
用量反応性		-
注釈		-
結論		
NOAEL (NOEL)		-
LOAEL (LOEL)		-
NOAEL/LOAELの推定根拠		-
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(27)	(27)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈		-
方法		
方法／ガイドライン	選択してください その他	選択してください other
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	1986	1986
試験系(種／系統)	Rat Fischer 344	Rat Fischer 344
性別(雄:M、雌:F)	MF	MF
投与量	1000 又は 4500 ppm	1000 or 4500 ppm
各用量群(性別)の動物数		-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	選択してください 吸入	選択してください inhalation
対照群に対する処理		-
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	13 週間	13 weeks
投与頻度	6時間/日、5日/週	6 hours/day, 5 days/week
回復期間(日)		-
試験条件		-
統計学的処理		-
結果		
体重、体重増加量		-
摂餌量、飲水量		-
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)		-
眼科学的所見(発生率、重篤度)		-
血液学的所見(発生率、重篤度)		-

血液生化学的所見(発生率、重篤度)		-
尿検査所見(発生率、重篤度)		-
死亡数(率)、死亡時間		-
剖検所見(発生率、重篤度)	研究終了時、いずれの性別においても、炭化水素誘発腎障害の兆候は確認されなかった。	There was no evidence of hydrocarbon-induced nephropathy in either sex at study termination.
臓器重量		-
病理組織学的所見(発生率、重篤度)		-
実際に摂取された量		-
用量反応性		-
注釈		-
結論		-
NOEL (NOEL)		-
LOEL (LOEL)		-
NOEL/LOELの推定根拠		-
雌雄のNOEL(LOEL)の違い等		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典		-
引用文献(元文献)	(28)	(28)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈		-
方法		-
方法／ガイドライン	選択してください その他	選択してください other
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	1985	1985
試験系(種／系統)	Rat Fischer 344	Rat Fischer 344
性別(雄:M、雌:F)	M	M
投与量	0, 500 又は 2000 mg/kg	0, 500, or 2000 mg/kg
各用量群(性別)の動物数		-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	強制経口投与	強制経口投与
対照群に対する処理	はい	yes
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	4 週間	4 weeks
投与頻度	5日/週	5 days/week
回復期間(日)		-
試験条件		-
統計学的処理		-
結果		-
体重、体重増加量	両処理群の終了時の体重は、対照群と比較して著しく低かった。	Terminal body weights of both treated groups were significantly less than controls.
摂餌量、飲水量		-
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)		-
眼科学的所見(発生率、重篤度)		-
血液学的所見(発生率、重篤度)		-
血液生化学的所見(発生率、重篤度)		-
尿検査所見(発生率、重篤度)		-
死亡数(率)、死亡時間	高用量群のラットの40%及び低用量群のラットの20%が死亡した。	Mortality occurred in 40 % of high-dose rats and 20 % of low-dose rats.
剖検所見(発生率、重篤度)		-
臓器重量	肝臓の絶対重量は、対照群のものと比較すると著しく低かった。	Absolute kidney weights were significantly lower than controls.
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	処理群と対照群の動物検体のいずれの肝臓においても、組織病理学的影響は記録されなかった。	No histopathological effects were noted in the kidneys of the either treated or control animals.
実際に摂取された量		-
用量反応性		-
注釈		-
結論		-
NOEL (NOEL)		-
LOEL (LOEL)		-
NOEL/LOELの推定根拠		-
雌雄のNOEL(LOEL)の違い等		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(29)	(29)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈		-
方法		-
方法／ガイドライン	選択してください	選択してください
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	1987	1987
試験系(種／系統)	Rat	Rat
		-

性別(雄:M、雌:F)	選択してください	選択してください
投与量	-	-
各用量群(性別)の動物数	-	-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	選択してください 皮下投与	選択してください s.c.
対照群に対する処理	-	-
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	-	-
投与頻度	-	-
回復期間(日)	-	-
試験条件	-	-
統計学的処理	-	-
結果	-	-
体重、体重増加量	-	-
摂餌量、飲水量	-	-
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	-	-
眼科学的所見(発生率、重篤度)	-	-
血液学的所見(発生率、重篤度)	-	-
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	-	-
尿検査所見(発生率、重篤度)	-	-
死亡数(率)、死亡時間	-	-
剖検所見(発生率、重篤度)	-	-
臓器重量	-	-
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	好中球減少及び肝機能に異常がみられた。	Neutopeny was observed, and anomalies in the hepatic function
実際に摂取された量	-	-
用量反応性	-	-
注釈	-	-
結論	-	-
NOAEL (NOEL)	-	-
LOAEL (LOEL)	-	-
NOAEL/LOAELの推定根拠	-	-
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等	-	-
注釈	-	-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠	-	-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献(元文献)	(30)	(30)
備考	-	-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈	-	-
方法	-	-
方法ノガイドライン	選択してください	選択してください
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	1975	1975
試験系(種ノ系統)	その他 ハムスター	その他 hamster
性別(雄:M、雌:F)	M	M
投与量	-	-
各用量群(性別)の動物数	-	-
溶媒(担体)	選択してください	選択してください
投与経路	選択してください その他	選択してください other
対照群に対する処理	-	-
投与期間(日)(OECD422等で、投与期間のデータ等がある場合、最長投与期間)	-	-
投与頻度	-	-
回復期間(日)	-	-
試験条件	-	-
統計学的処理	-	-
結果	-	-
体重、体重増加量	-	-
摂餌量、飲水量	-	-
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)	-	-
眼科学的所見(発生率、重篤度)	-	-
血液学的所見(発生率、重篤度)	-	-
血液生化学的所見(発生率、重篤度)	-	-
尿検査所見(発生率、重篤度)	-	-
死亡数(率)、死亡時間	-	-
剖検所見(発生率、重篤度)	-	-
臓器重量	-	-
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	n-ペンタンで処理されたハムスターの肝臓では、グルクロン酸抱合の増加及び酸化酵素の誘発が確認された。	Hamster livers treated with n-pentane showed that glycoconjugation ***glucuronate conjugation*** was increased and oxydases stimulated
実際に摂取された量	-	-
用量反応性	-	-
注釈	-	-
結論	-	-
NOAEL (NOEL)	-	-
LOAEL (LOEL)	-	-

NOAEL/LOAELの推定根拠		-
雌雄のNOAEL(LOAEL)の違い等		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献(元文献)	(31)	(31)
備考		-

5-6 *in vitro* 遺伝毒性  
GENETIC TOXICITY IN VITRO  
A. 遺伝子突然変異  
GENE MUTATION

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈		-
方法		
方法／ガイドライン	選択してください 方法:その他 タイプ:Ames test	選択してください Method: other Type: Ames test
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	1980	1980
細胞株又は検定菌	選択してください Salmonella typhimurium	選択してください Salmonella typhimurium
代謝活性化(S9)の有無	有りおよび無し	with and without
試験条件	濃度: =< 295 mg/l (100 ppm)	Concentration: =< 295 mg/l (100 ppm)
結果		
細胞毒性		
代謝活性ありの場合		-
代謝活性なしの場合		-
変異原性		
代謝活性ありの場合		-
代謝活性なしの場合		-
注釈		-
結論		
遺伝子突然変異	陰性	陰性
注釈		
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献(元文献)	(32)	(32)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈		-
方法		
方法／ガイドライン	選択してください タイプ: Escherichia coli 復帰突然変異試験	選択してください Type: Escherichia coli reverse mutation assay
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
細胞株又は検定菌	選択してください	選択してください
代謝活性化(S9)の有無	選択してください	選択してください
試験条件		-
結果		
細胞毒性		
代謝活性ありの場合		-
代謝活性なしの場合		-
変異原性		
代謝活性ありの場合		-
代謝活性なしの場合		-
注釈		-
結論		
遺伝子突然変異	陰性	陰性
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献(元文献)	(33)	(33)
備考		-

B. 染色体異常  
CHROMOSOMAL ABBERATION

5-7 *in vivo* 遺伝毒性  
GENETIC TOXICITY IN VIVO

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質:その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈		-
方法		
方法／ガイドライン	選択してください その他	選択してください other
試験のタイプ	優性致死試験	Dominant lethal assay
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	1982	1982
試験系(種／系統)	mouse	mouse
性別(雄:M、雌:F)	選択してください	選択してください
投与量	48～666 mg/kg	between 48 et 666 mg/kg

投与経路	選択してください 腹腔内	選択してください i.p.
試験期間		-
試験条件	ばく露期間: 単回投与  9-60%エーテル中の微粒子大気汚染物質の画分として収集されたn-ペンタンの潜在的優性致死影響が、マウスについて研究された。交配前に、7~9匹の雄マウスが、ペンタン画分の48~666mg/kgを、腹腔内に単回注入された。雌は、交配したと推定される週半ばから13日後に屠殺され剖検された。	Exposure period: single injection  The potential dominant-lethal effects of n-pentane, collected as fractions of particulate atmospheric pollutants in 9-60 % ether were studied in mice. Before mating, between 7 and 9 male mice were injected once intraperitoneally with between 48 and 666 mg/kg of one of the pentane fractions. Females were sacrificed 13 days after the mid-week of their presumed mating and autopsied.
統計学的処理		-
結果		
性別及び投与量別の結果	処理は、胎児の早期死亡にも胚着床前損失にも影響しなかった。	Treatment had no effect on early fetal death or preimplanting losses
遺伝毒性効果	選択してください	選択してください
NOAEL (NOEL)		-
LOAEL (LOEL)		-
統計的結果		-
注釈		-
結論		
<i>in vivo</i> 遺伝毒性	選択してください	選択してください
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(34)	(34)
備考		-

5-8 発がん性  
CARCINOGENICITY

5-9 生殖・発生毒性(受胎能と発生毒性を含む)  
REPRODUCTIVE TOXICITY(Including Fertility and Development Toxicity)

A. 受胎能  
FERTILITY

B. 発生毒性  
DEVELOPMENTAL TOXICITY

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等	被験物質: その他の試験物質	Test substance: other TS
注釈		-
方法		
方法/ガイドライン	その他	other
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年	1981	1981
試験系(種/系統)	Mouse	Mouse
性別(雄:M、雌:F)	選択してください	選択してください
投与量	10.4, 50.9 及び 94.7 mg/m3	10.4, 50.9 and 94.7 mg/m3
各用量群(性別)の動物数		-
投与経路	選択してください 吸入	選択してください inhalation
試験期間		-
交配前暴露期間		-
試験条件		-
統計学的処理		-
結果		
死亡数(率)、死亡時間		-
用量あたり妊娠数		-
流産数		-
早期/後期吸収数		-
着床数		-
黄体数		-
妊娠期間(妊娠0日から起算)		-
体重、体重増加量		-
摂餌量、飲水量		-
臨床所見(重篤度、所見の発現時期と持続時間)		-
血液学的所見(発生率、重篤度)		-
血液生化学的所見(発生率、重篤度)		-
剖検所見(発生率、重篤度)		-
臓器重量(総子宮量への影響)		-
病理組織学的所見(発生率、重篤度)	発生段階におけるラットの大脳皮質の組織学的変異	Histological Modifications of RAT cerebral cortex in its phase of development
同腹仔数及び体重		-
生存数(生存胎仔数及び胎仔数)		-
性比		-
生存率(生後4日目生存仔数/総分娩仔数)		-
生後発育		-
分娩後生存率		-
肉眼的異常(外表観察、内臓標本、骨格標本)		-
実際に投与された量		-
用量反応性		-
統計的結果		-
注釈		-
結論		
Pに対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)		-



F1に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)		-
F2に対するNOAEL (NOEL)又はLOAEL (LOEL)		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(35)	(35)
備考		-

## 5-10その他関連情報

## OTHER RELEVANT INFORMATION

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		-
方法ノガイドライン		-
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件	タイプ:細胞毒性 各代謝物の毒性は、培養細胞で研究された。代謝物は、3日間培養されたHeLa S3細胞懸濁液でそれぞれ混合され、50%まで細胞の成長を阻害する濃度(IGC50)が比較された。	Type: Cytotoxicity The toxicity of each metabolite was studied in cultured cells. The metabolites were individually mixed with HeLa S3 cell suspension, incubated for three days, and their concentration which inhibited the growth of cells by 50 % (IGC 50) were compared.
結果		
結果	処理群と対照群の間で、毒性に大きな違いはなかった。	There was no significant difference in toxicity between treated and control cells.
結論		-
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(36)	(36)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		-
方法ノガイドライン		-
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件	タイプ:代謝	Type: Metabolism
結果		
結果	2-ペンタノールは、ラットやウサギの肝ミクロソームで形成される主な代謝物(83~89%)であった。3-ペンタノールもまた、少ない代謝物(11~16%)として検出された。n-ペンタン及び1-ペンタノールの代謝物であるケトン及びアルデヒドは検出されなかった。	2-Pentanol was the major metabolite (83-89%) formed in rat and rabbit liver microsomes. 3-pentanol was also detected as a minor metabolite (11-16 %). Ketone and aldehyde metabolites of n-pentane and 1-pentanol were not detected.
結論		-
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(37)	(37)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		-
方法ノガイドライン	タイプ:代謝	Type: Metabolism
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件	雄のICRマウスは、連続4日間80mg/kg体重のフェノバルビタールを混餌投与され、その後1時間n-ペンタンをばく露された。	Male ICR mice were fed 80 mg/kg body weight phenobarbital for four consecutive days and then exposed to n-pentane for one hour.
結果		
結果	2-ペンタノール及び2-ペンタノンの生成量が増加した。	This resulted in INCREASED 2-PENTANOL AND 2-PENTANONE PRODUCTION.
結論		-
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(38)	(38)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		-
方法ノガイドライン	タイプ:代謝	Type: Metabolism
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年		-

試験条件	雄のICRマウスは、連続4日間80mg/kg体重のフェノバルビタールを混餌投与され、その後1時間n-ペンタンをばく露された。	Male ICR mice were fed 80 mg/kg body weight phenobarbital for four consecutive days and then exposed to n-pentane for one hour.
結果		
結果	2-ペンタノール及び2-ペンタノンの生成量が増加した。	This resulted in INCREASED 2-PENTANOL AND 2-PENTANONE PRODUCTION.
結論		
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(36)	(36)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		
方法／ガイドライン	タイプ:代謝	Type: Metabolism
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件	ラットを用いて、ガス摂取薬物動態学的研究が実施された。	Gas-uptake pharmacokinetic studies have been carried out in rats.
結果		
結果	用量依存的薬物動態がみられた。これは、n-ペンタンの代謝物が飽和可能であることを示す。n-ペンタンの消失半減期は約0.13時間であった。	Dose-dependant pharmacokinetics was observed indicating that the metabolism of n-pentane is saturable. The elimination half-life of n-pentane was about 0.13 hours.
結論		
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(39)	(39)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		
方法／ガイドライン	タイプ:代謝	Type: Metabolism
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件	マウスにおいて、32,000 ppmのn-ペンタンにマウスを5分間ばく露させたところ軽度の無感覚症が生じ、濃度64,000 ppmに5分間ばく露させた後には、重度の無感覚症が生じた。	Light anesthesia occurred in mice after 5 minutes of exposure to 32,000 ppm n-pentane and deeper anesthesia after 5 minutes of exposure to 64,000 ppm n-pentane.
結果		
結果	マウス4匹のうち1匹が、128,000 ppmのn-ペンタンへの5分間のばく露中に呼吸停止した。呼吸器刺激は16,000 ppm以上の濃度へのばく露で確認された。	One out of 4 mice had respiratory arrest within 5 minutes of exposure to 128,000 ppm n-pentane. Respiratory tract irritation was noted at exposure of 16,000 ppm and higher.
結論		
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(40)	(40)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		
方法／ガイドライン	タイプ:代謝	Type: Metabolism
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果		
結果	閉塞状況下で、n-ペンタンは2.2 micro-g /cm <sup>2</sup> /時間の速度で、ラットの完全な厚さの皮膚に浸透する。	Under occluded condition, n-pentane penetrates through full-thickness rat skin at a rate of 2.2 micro-g /cm <sup>2</sup> /hr
結論		
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(41)	(41)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		
方法／ガイドライン	タイプ:神経毒性	Type: Neurotoxicity
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果		

結果	神経インパルスの障害がCALAMARYAXONSを用いて実証された。	Inhibition of nerve impulse has been demonstrated on CALAMARYAXONS.
結論		
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献(元文献)	(42)	(42)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
方法		
方法／ガイドライン	タイプ:その他	Type: other
GLP適合	選択してください	選択してください
試験を行った年		-
試験条件		-
結果		
結果	n-ペンタンにより、イヌの心臓にエピネフリンの影響を与えることができる。 大用量(# 40 %)がマウスを死亡させた。	N-pentane is able to potentialise the effects of epinephrin under dog heart. Massives doses (# 40 %) induced death of mice.
結論		
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献(元文献)	(43)	(43)
備考		-

5-11 ヒト暴露の経験  
EXPERIENCE WITH HUMAN EXPOSURE

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
製造／加工／使用情報		-
研究デザイン		-
仮説検証		-
データ収集方法		-
被験者の説明		-
暴露期間		-
測定又は評価曝露データ		-
結果		
統計的結果		-
発病頻度		-
相関		-
分布		-
研究提供者等		-
注釈	ペンタンは、極端な事例では、めまい、中枢神経系の機能低下によるものと思われる頭痛、、食欲減退、吐き気、味覚残存、混乱、繊細な仕事の実施困難、最悪の場合意識を喪失させることが可能である。	Pentane is able to induce dizzinesses and headaches that maybe associated with depression of central nervous system, anorexia,nausea, persisting taste, confusion, difficulties to execute delicate tasks, loss of consciousness in extreme cases.
結論		
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献(元文献)	(44)	(44)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
製造／加工／使用情報		-
研究デザイン		-
仮説検証		-
データ収集方法		-
被験者の説明		-
暴露期間		-
測定又は評価曝露データ		-
結果		
統計的結果		-
発病頻度		-
相関		-
分布		-
研究提供者等		-
注釈	ベルト製造公房の従業員のうち、多発性神経障害の事例が5件確認された。それらの従業員らはペンタン80%、ヘプタン14%及びヘキサン6%を含む溶剤にばく露された。確認された毒性効果は事故によるものであると考えられた。	5 cases of Polyneuropathy appeared among employees of a beltmanufacturing shop.The employees were exposed to a solvent containing 80% pentanes , 14% heptanes and 6% hexane. The trouble was believed to have been responsible for the toxicity
結論		
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvants Paris	Total Solvants Paris
引用文献(元文献)	(45)	(45)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
製造／加工／使用情報		-
研究デザイン	ペンタンの蒸気の皮膚への影響が、5人のボランティアの皮膚で試験された。ガラスの筒を用いて揮発したペンタンを誘導させ、前腕の前面を1時間、大腿部を5時間ばく露させた。	The dermal effects of pentane vapors was applied to the skin of 5 volunteers. Open glass rods were used to direct the release of vaporized pentane to the anterior surface of the forearm for 1 hour exposures and to the thigh for 5 hour exposures.
仮説検証		-
データ収集方法		-
被験者の説明		-
暴露期間		-
測定又は評価曝露データ		-
結果		-
統計的結果		-
発病頻度		-
相関		-
分布		-
研究提供者等		-
注釈	経皮ばく露後、紅斑、充血、腫物及び色素沈着がみられた。ばく露5時間後、ボランティアはかゆみや水ぶくれによる絶え間ない痛烈な灼熱感を訴えた。しかしながら、皮膚に麻酔効果は確認されなかった。	Erythema, hyperemia, swelling and pigmentation were observed after dermal exposure. The volunteers complained of a constant painful burning sensation accompanied by itching and blisters were found after 5 hours of exposure. However there was no evidence of anesthetic effects on the skin
結論		-
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(46)	(46)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
製造／加工／使用情報		-
研究デザイン	臨床研究で、臭気認知及び脂肪族炭化水素(プロパン、ブタン、ペンタン、ヘキサン及びヘプタン)と関係する生理的反応の重要性が研究された。	In a clinical study, smell perception and importance of physiological responses involved by aliphatic hydrocarbons: propane, butane, pentane, hexane and heptane were studied.
仮説検証		-
データ収集方法		-
被験者の説明		-
暴露期間		-
測定又は評価曝露データ		-
結果		-
統計的結果		-
発病頻度		-
相関		-
分布		-
研究提供者等		-
注釈	臭気と生理的反応は物質の炭素数とともに上昇した。ペンタンの臭気は、ブタンやプロパンと同様にほとんどなかった。	Odour and physiological response increased with the number of carbons of the substance. Odour of pentane was as odours of butane and propane almost absent, ...
結論		-
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(47)	(47)
備考		-

試験物質名	ペンタン	pentane
CAS番号	109-66-0	109-66-0
純度等		-
注釈		-
製造／加工／使用情報		-
研究デザイン		-
仮説検証		-
データ収集方法		-
被験者の説明		-
暴露期間		-
測定又は評価曝露データ		-
結果		-
統計的結果		-
発病頻度		-
相関		-
分布		-
研究提供者等		-
注釈	n-ペンタンの血液/空気の分配係数は0.38である。	Blood/air partition coefficient of n-pentane is 0.38.
結論		-
結論		-
注釈		-
信頼性	選択してください	選択してください
信頼性の判断根拠		-
出典	Total Solvents Paris	Total Solvents Paris
引用文献(元文献)	(48)	(48)
備考		-

## 6 参考文献(以下に欄を追加の上、一文献について一行にて一覧を記載)

文献番号(半角数字: 自動的に半角になります)	詳 細(OECD方式での記入をお願いします。下の記入例参照。)	日本語の場合、以下の欄をお願いします。
1	Dutch MAC list	
2	ACGIH list 1993-1994	
3	ACGIH, 1993-94	
4	Exxon Chemical International, Inc. Material Safety Data Sheets : NORPAR 5S (HDHE-C-05108) and NORPAR 5 (HDHE-C-00036)	
5	Hansch, C. and Leo, A.J. The Lop P Database. Pomona College, Claremont, CA (1985)	
6	Material safety data sheet :HYDROSOL PENTANE	
7	Material safety data sheets : NORPAR 5S and NORPAR 5	
8	Material Safety Data Sheets : NORPAR 5S (HDHE-C-05108) and NORPAR 5 (HDHE-C-00036)	
9	Verschueren, K. Handbook of Environmental Data on Organic Chemicals (1983)Van Nostrand Reinhold New-York p 959-960	
10	Hou, C.T. et al.Appl Environment Microbiol 46:178-184 (1983)	
11	Patel, R.N. et al. Appl. Environ. Microbiol. 39: 720-726 (1980) Within 24 hours n-pentane was oxidized to 2-pentanone and 2-pentanol	
12	Lyman ,W.J et al Handbook of Chemical Property Estimation Method (1982)	
13	Morrow, J.E., Gritz, R.L., Kirton, M.P. Effects of some components of crude oil on young Coho SalmonCopeia 2: 326-331 (1975)	
14	Abernethy, S., Bobra, A.M., Shiu, W.Y., Wells, P.G., Mackay, D. Acute lethal toxicity of hydrocarbons and chlorinated hydrocarbons to two planktonic crustaceans : the key role of organism-water partitioning. Aquat. Toxicol. 8: 163-174 (1986)	
15	Bobra, A.M., Shiu, W.Y., Mackay, D. A predictive correlation for the acute toxicity of hydrocarbons and chlorinated hydrocarbons to the water flea (Daphnia magna). Chemosphere 12: 1121-1129 (1983)	
16	Legore, R.S. The effect of Alaskan crude oil and selected hydrocarbon compounds on embryonic development of the Pacific oyster, Crassostrea Gigas. Diss. Abstr. Int. 35: 3168b (1975)	
17	Brooks, J.M., G.A. Fryxell, D.F. Reid, and W.M. Sackett (1977). Gulf Underwater Flare Experiment (GUFEX) : Effects of Hydrocarbons on Phytoplankton p 45-75 in Proc . Pollution Effects Marine Organisms .C.S Giam ,editor D.C Heath, Co. Lexington , Massachusetts.	
18	Stoughton, R.W., and Lamson, P.D. The relative anesthetic activity of the butanes and the pentanes. J. Pharmacol. Exp. Ther. 58: 74-77 (1936)	
19	Fuhrer, H. Biochem Z. 1921;115:236-262 (in Ethel Browning)	
20	J. Pharmaceutic. Sci.1978; 67 : 566 (in RTECS)	
21	Wirtshafter, Bischel. Am. Med. Assoc. Arch. Industr. Health. 1960; 21 : 152-159.	
22	Exxon Biomedical Sciences, Inc. Primary Dermal Irritation Study in the Rabbit EBSI Report # 90MRL 107 (1990)	
23	Hill Top Research ,Inc (1991) Evaluation of Primary Irritation Potential in Humans ( Single 24 hours application) EBSI Report # 91 MRL 71	
24	Exxon Biomedical Sciences , Inc .Dermal Sensitization Test in the Guinea Pig (NORPAR 5S) .EBSI Report # 91 MRL 216	
25	Takeuchi Y, Ono Y, Hisanaga N, Kitoh J and Sugura Y (1981) Clin Toxicol 18:1395-1402	
26	Halder, C.A., Vangorp, G.S., Hatoum, N.S., and Warne, T.M. Gasoline vapor exposures, Part 2; evaluation of the nephrotoxicity of the major C4/C5 hydrocarbon components. American Industrial Hygiene Association Journal. 47 : 173-175 (1986).	
27	Takeuchi, Y., Ono, Y., Hisanaga, N., Kitoh, J., and Suriura, Y. A comparative study of the toxicity of n-pentane, n-hexane, n-heptane to the peripheral nerve of the rat. Clin. Toxicol. 18 : 1357-1367 (1981).	
28	Aranyi, C. O'Shea, W.J., Halder, C.A., Holsworth, C.E., and Cockrell, B.Y. Absence of hydrocarbon-nephropathy in rats exposed subchronically to volatile hydrocarbon mixtures pertinent to gasoline. Toxicol. Ind. Health 2 : 85-98 (1986).	
29	American Petroleum Institute. Four-Week Oral Nephrotoxicity Screenin Study in Male F344 Rats. API Med. Res. Publ. 32-30966 (1985).	
30	Low and al. Ethel Browning's Toxicity and Metabolism of Industrial Solvents. 2nd edition. Vol 1 : Hydrocarbons. R. Snyder Ed. Elsevier Sci. Publ. 1987. pp 279-286.	

31	Notten and al. Biochem. Pharmacol. 1975; 24 : 1093-1097.	
32	Kirwin, C.J., Thomas, W.C., and Simmons, V.F. In vitro microbiological mutagenicity studies of hydrocarbon propellants. J. Soc. Cosmet. Chem. 31: 367-370 (1980)	
33	Kirwin and al. J. Soc. Cosmet. Chem. 1980; 31 : 367-370.	
34	Epstein, S.S., Arnold, E., Andrea, J., Bass, W., and Bishop, Y. Detection of chemical mutagens by the dominant lethal assay in the mouse. Toxicol. Appl. Pharmacol. 23: 288-325 (1982)	
35	Sandmeyer, E. Pentane. Patty's Industrial Hygiene and Toxicology. Vol. 2B pp. 3184-3188. John Wiley. New York. 1981.	
36	Chiba, S., Oshida, S. Metabolism and Toxicity of n-Pentane and Isopentane. Nippon Hoigaku Zasshi. 45(2) : 128-137 (April, 1991).	
37	Frommer, U., Ullrich, V. and Staudinger, H. Hydroxylation of aliphatic compounds by liver microsomes. I. The distribution pattern of isomeric alcohols. Hoppe Seyler's Z. Physiol. Chem. 351 : 903-912.	
38	Chiba, S., Oshida, S. Metabolism and Toxicity of n-Pentane and Isopentane. Nippon Hoigaku Zasshi. 45(2) : 128-137 (April, 1991).	
39	Filser, J.G., Bolt, H.M., Muliawan, H., and Kappus, H. Quantitative evaluation of ethane and n-pentane as indicators of lipid peroxidation in vivo. Arch. Toxicol. 52 : 135-147 (1983)	
40	Swann H E, Jr et al (1974) Am Ind Hyg Assoc J 35 :511-518	
41	Tsuruta H (1982) Ind Health 20:2335-2345	
42	Haydon D., and Kimura J. J. Physiol. 1981; 312 : 57-70.	
43	Sandmeyer E. Pentane. Patty's industrial Hygiene and Toxicology. Vol 2B. pp. 3184-3188. John Wiley. New York. 1981.	
44	Hamilton A. et Hardy L. Industrial Toxicology. 3	
45	Gaultier and al. J. Eur. Toxicol. 1973; 6: 294-296.	
46	Oettel H (1936) Arch Exp Pharmacol 1883:641	
47	Patty and Yant. US Bureau of mines report of investigation nx 29-79, 1929.	
48	Perbellini L. and al. Br. J. Industr. Med. 1985; 42 : 162-167.	